



大腸カメラ 注意事項

- ・検査時間の目安は**15-30**分程度です。
- ・状況により開始時刻が前後することがあることをご了承ください。

【内服】

1. 降圧薬（血圧を下げる薬）：《検査当日》

午後の場合は、下剤内服の**2時間前までに**服用ください。

午前の場合は、**検査後に**服用ください。

2. 糖尿病薬：

必ずかかりつけの先生にご相談いただき、指示に従ってください。

万一確認ができなかった場合は、以下のようにしてください。

- ・《**当日検査前**の中止》 内服、速攻型インスリン注射。

（検査後食事あとに内服または速攻型インスリンを、再開ください。）

※ 長時間作用型（24時間作用型）インスリンについては、継続ください。

3. 抗凝固薬（血液をサラサラにする薬）：

- ・ポリープ発見時に切除をご希望の場合は、休薬ください。

休薬の可否については、必ずかかりつけの先生にご相談ください。

自己判断での休薬は、絶対になさらないでください。

- ・ポリープ発見時に治療をご希望されない場合は内服を継続ください。

4. その他の常用薬： 下剤内服の**2時間前までに**服用してください。

【食事制限】

検査2～3日前：キノコ類、種がある果物、野菜や脂肪分が多い食品は、避けて下さい

検査前日：検査食（エニマクリン、クリアスルーなど）または、

おかゆ、麺類（具なし）、ゼリー状の栄養剤などがおすすめです。

★21時以降は、固形物の摂取をされないでください。

検査当日：食事、糖分の含む飲み物（糖分の含まない水・茶は可）、喫煙は、控えて
ください。

※食事制限を守っていただけない場合、
適切な検査ができない可能性があることをご了承ください。

【便秘の方、前回の内視鏡検査で前処置が不十分だった方】

3日前から内服する追加の下剤を処方することも可能です（応相談）。

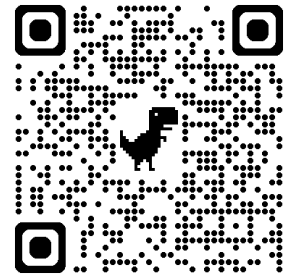
【前処置】

下剤（モビプレップ）の内服は下記をご参照ください。

下剤《モビプレップ配合内用剤》の内服

<https://www.eapharma.co.jp/patient/moviprep/how-to-prevention-of-dehydration>

上記のサイトにアクセスすると説明動画をご覧いただけます。



下剤の用意

・ 容器中程の線まで水を入れたら容器を手で押してB剤と混ぜます。

・ よく振って混ざったら容器上側の線まで水を入れます（2 Lになります。）

※ 検査の開始時刻により内服方法・内服開始時間が異なります。

服用前の準備

※使用直前まで、アルミの袋は開封しないでください。



※お茶やジュース、スポーツドリンクなどで溶かさないでください。
※砂糖や香料などを加えないでください。

午前中の場合：

パターン①：「早朝に服用」

検査の5時間前朝6時から内服を開始してください。

※内服方法は、「午後の場合」（p.4）をご覧ください。

パターン②：「前日夜に服用」（糖尿病治療中の方は、不可）

《前日》

1. 夕食は、17時までに済ませてください。
2. 夜21時以降に、モビプレップを1L服用していただきます。
3. 最初の1杯（180mL）は15分かけてゆっくりと、その後は10-15分かけて服用してください。
4. モビプレップをコップ2杯飲んで、水/茶をコップ1杯飲むを3回繰り返します（合計でモビプレップ1L、水/茶500mLを60~90分かけて）

5. 数杯服用すると便意を催します。
6. 5-6回排便後、便意が落ち着いてきます。

服用例 (モビプレップ®1.5リットル服用した時点で、排泄液が透明になった場合)

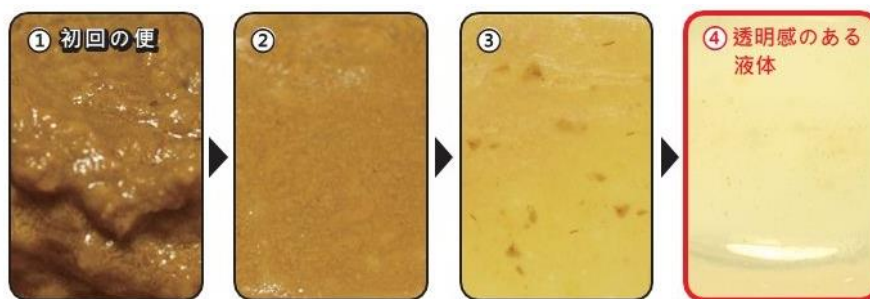
1杯(約180mL) / 10~15分かけて服用。

便がほぼ透明な水様便になったら服薬終了。



《翌日》

1. 朝7時にモビプレップの残り500mLを飲み、水/茶を250mL飲みます。
 2. 便が下図のように透明になったら終了し、便の状態をチェックしてください。
- ※便が透明にならない場合、モビプレップ500mLを飲み、水/茶を250mL飲みます。

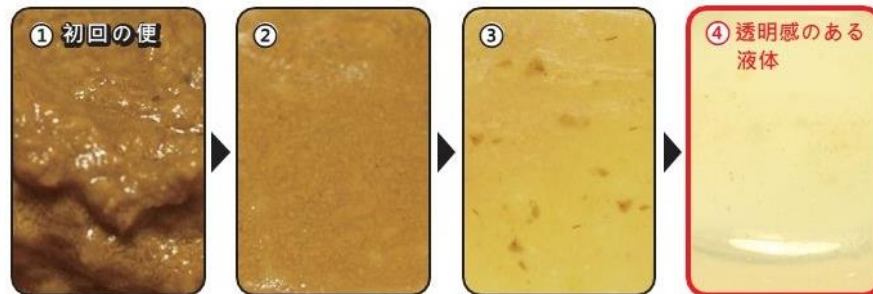


通常、腸管洗浄剤を服用してしばらくすると排便が始まります。排便回数とともに便の状態が①→④のような黄色い液体になります。便に固形物がなくなり透明感のある液体になれば検査可能です。

午後の場合：

1. 検査の5時間前から服用を開始してください。
(おそくても3時間前までに開始してください。)
 2. 最初の1杯(180mL)は15分かけてゆっくりと、その後は10~15分かけて服用してください。
数杯服用すると便意を催します。
 3. モビプレップをコップ2杯飲んで、水/茶をコップ1杯飲むを3回繰り返します(合計でモビプレップ1L、水/茶500mLを60~90分かけて)
 4. 5~6回排便すると便意が落ち着いてきます。
 5. 便が下図のように透明になったら終了し、便の状態をチェックしてください。
- ※便が透明になっていなければ、さらにモビプレップを500mL飲み、水/茶を250mL飲みます。

※ 下剤を2L服用しても便がまったく透明にならない場合、電話にてご相談ください。（多少の便カスが混ざる程度なら検査は可能です）



通常、腸管洗浄剤を服用してしばらくすると排便が始まります。排便回数とともに便の状態が①→④のような黄色い液体になります。便に固形物がなくなり透明感のある液体になれば検査可能です。

注意

モビプレップを飲んでいる時は、症状（気分が悪い、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、顔が青ざめる、めまい、寒気、じんましん、息苦しい、顔がむくむ）がないことを確かめ、症状があれば、ただちに飲むのをやめ、医師に連絡してください。

また、飲み終わったのちにこのような症状があらわれた場合も、ただちに医師に連絡してください。

この薬を飲んでいるときにのどが渴いた場合、我慢せずに水/茶を飲んでください。

【鎮静について】

- ・楽な内視鏡という意味では確かに鎮静によるメリットがあります。
- ・一方で確実にデメリットもあります。

以下にメリットとデメリットを簡単にご説明いたします。

鎮静をご利用されるかどうかは、メリットとデメリットをそれぞれご理解いただき、各自でご判断ください。

詳しくは鎮静剤についての説明書・同意書もご参照いただけます。

ご不明な点がございましたらご相談ください。

▷メリット

- ・検査中の痛みや不快感を軽減できます。

▷デメリット

- ・鎮静剤は、100%安全というわけではありません。
- ・鎮静は、心臓・肺に負担がかかるため重度の心疾患や呼吸器疾患をお持ちの方は注意が必要です。
- ・また、鎮静による転倒のリスクや検査当日の作業能率の低下があげられます。

下部消化管内視鏡（大腸カメラ）の苦痛度：

- ・個人差がかなりあります。
- ・「全然大したことがなかった」という患者様や「麻酔なしだとかなり痛かった」という患者様まで様々です。
- ・腹部手術歴などによる癒着がある場合・前回内視鏡をしたときに大変だった場合は鎮静がおすすめです。

【検査当日の諸注意】

- ・着替えやすい服装でご来院ください。
- ・鎮静をご希望の際は、検査当日の車・自転車等の運転は絶対にご遠慮ください。

【来院方法】

- ・ご自宅で下剤の内服を済ませ検査の30分前までにご来院いただきます。
- ・当院に駐車場はございません。（近隣に有料の駐車場がございます。）

【検査後】

●鎮静を行わなかった場合

- ・検査終了後、すぐご帰宅が可能です。
- ・検査後も普段通りの生活が可能です。

※ 組織を採取した場合は、下段を参照ください)

●鎮静を行った場合

- ・30～60分ほど休憩していただき、ご帰宅となります。
- ・当日は検査後もお車・自転車等の運転は絶対に行わないでください。
- ・また、検査後も鎮静の影響が残る場合があります。
- ・用事や仕事などを入れず安静にお過ごしください。

●組織を採取しなかった場合は、普段通りにお過ごしください。

●組織の一部を採取（生検）した場合は、3日ほどアルコール・刺激物の摂取は避けてください。

●ポリープを切除した場合は、1週間程度アルコール・刺激物の摂取を避け、出血が起きた際に救助の要請が難しい場所（登山、海外など）へ行く予定は入れないようお願いいたします。

※気分が悪いなどご心配な場合は、ご相談ください。

【再診の予約】

- ・生検を行った場合、もしくは、ポリープを切除した場合は、組織検査の結果が出るまでに8日ほど（連休期間分後ろ倒しになります）かかります。
- ・再診の予約を受付でお取りいたします。

※ご都合が悪い方は、後日ご自身で変更頂くことができます。